

〔高岡市議会議員〕

# 横田の政治せいじ

## SEIJI's REPORT

# りぽーと



2019年春  
第9号

Challenge your future!

## 横田せいじのプロフィール

### 自己紹介

- 生年月日 昭和55年5月13日(38歳)  
高岡市内生まれ、美幸町在住
- 趣味特技 野球、空手、登山、スキー・スノーボード、読書

### 経歴

- 川原小学校、高岡西部中学校、高岡第一高等学校、富山県立大学工学部卒業
- 平成15年 高岡市役所入庁  
『都市計画課(地域交通担当)』で、万葉線やコミュニティバスなどの公共交通政策に、『総務課(危機管理室)』で、防災や国民保護などの危機管理政策及び選挙業務に、『財政課(資金、財政・調査担当)』で、予算編成や起債、決算分析などの財政政策に携わる
- 平成24年 高岡市役所退職
- 平成25年 高岡市議会議員(初当選)
- 平成29年 高岡市議会議員(2期目)

### 市議会等での役職

- 産業建設常任委員会 委員長
- まちづくり対策特別委員会 委員長
- 広報広聴委員会 委員
- 高岡地区広域圏事務組合議会 議員(詳細はトピックス参照)

### 現役職資格等

- 富山県飲食業生活衛生同業組合高岡支部 顧問
- 高岡調理師会 顧問
- 高岡市スキー連盟 副会長
- 高岡市相撲連盟 副会長
- 高岡市消防団 和田分団員
- 高岡市スポーツ推進 委員
- 高岡市立西条公民館運営委員会 相談役
- 国境なきUNDOKAI 実行委員長
- 高岡青年コミュニティ会議 事務局長(平成29年度)
- 高岡商工会議所 青年部員
- (公社)高岡青年会議所 理事長
- 高岡カラコムクラブ会員
- 南西リーグスポーツ少年団野球大会 副会長
- 西条スポーツ少年団育成会 副会長
- 西条スポーツ少年団育成会 野球部顧問
- 西条校区青少年補導委員会 顧問
- 西条校下体育振興会 役員
- 西条校下社会福祉協議会 顧問
- 国条橋運動広場管理協力会 事務局員
- 国条橋パークゴルフクラブ 顧問
- 美幸町自治会 相談役
- 美幸町高齢者見守り隊 事務局長兼会計
- 内免神明町獅子舞保存会員
- 高岡第一高等学校第38回生 同窓会長
- 高岡西部中学校同窓会 副会長
- 国際空手道連盟極真会館弐段、審判資格
- 財日本体育協会公認スポーツリーダー・スポーツ少年団 認定員
- 自由民主党富山県支部連合会青年局 学生部担当委員長
- 自由民主党高岡市連合支部 青年局長
- 俳優 古村真人富山後援会 事務局長
- 映画「デンサン」実行委員会 副会長

最新情報ははこちら

横田せいじ 検索

公式サイト

<http://www.yokotaseiji.net/>



<https://www.facebook.com/yokotaseiji kouenkai/>



刊行物

たかおか市議会だより



<https://www.instagram.com/yokotaseiji/>



※議会ごとに高岡市内全戸に配布されます。



発行 / 高岡市議会自民同志会

編集 / 高岡市議会議員

## 横田せいじ

〒933-0954 高岡市美幸町1-2-55

TEL (0766) 25-4017 FAX (0766) 25-4007

E-mail office@yokotaseiji.net



H30.1.31~2.2 消防団幹部候補中央特別研修受講



H30.3.11 祝!北陸新幹線開業3周年 Visit Takaoka おもてなしキャンペーン(高岡青年コミュニティ会議主催)

## 平成の、その先の時代へ。 気力・体力充分! 引き続き、精力的に活動に邁進します!

### ごあいさつ

日頃より交流させて頂いております地域の方々を始め、皆さま方から賜っております格別のご高配に心より深く感謝申し上げます。

月日の経過は早いもので、一昨年(2017年)11月から2期目となる高岡市議会議員としての活動を開始してから1年半近くが経過しようとしています。この間、議会の中には改選直後に開催された2017年11月の臨時議会において、「議会運営委員会副委員長」や「民生病院常任委員長」等の公職に就任すると共に、市議会全議員27名中、新人議員7名を迎えて20名で構成する会派「自民同志会」の政調会幹事職に就き、代表質問の形成を通じた市への政策提言等を行ってまいりました。また、一層の市政進展に向けて、前回の任期に引き続いて会派内に複数設置された政策分科会の1つ「総務・議会改革分科会」座長に就任し、財政問題や公共施設再編、議会改革全般、高岡市議会災害対応マニュアル策定検討、議会の電子化推進、予算特別委員会

の設置検討などの議論を先導してきました。

そして、昨年12月定例会における議会諸役員交代に伴い、新たに「産業建設常任委員長」や高岡・氷見・小矢部市で構成する「高岡地区広域圏事務組合議会議員」等に就任すると共に、再編成された会派内の政策分科会の1つ「産業建設分科会」座長に就任し、引き続き鋭意活動に取り組んでいます。

一方、議会の外においても、改選後、新たに就任した自民党高岡市連「青年局長」等の政党活動を始め、本紙末尾に掲載してある、数多くの役職・活動を通じて、様々な切り口で「住み良い地域づくり」と「高岡の活性化」実現に邁進する日々を送っています。

こうした毎日が、私にとっては本当にやりがいを感じ、楽しく、とても充実したものであり、引き続き、全身全霊で高岡市議会議員としての職責を果たすと共に、皆さまの付託に応えていく覚悟です。

正に気力・体力充分。間もなく迎えようとしている平成の、

その先の時代に向け、益々気概を高めていますが、同時に多くの役職・仕事に取り組む中で、皆さまには時にご迷惑をおかけし、あるいはご協力を求めることもあろうかと思いますが、これまで同様のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

なお、前号でも触れましたが、前回4年間の任期において、概ね半年に一度のペースで発行してきた本紙形態をこの度見直し、1年間の活動を一挙にお伝えるなど、更新した形で本号をまとめたところですが、これらに加えて引き続き、SNS (facebook及びInstaglam) や公式ホームページ等の電子媒体でも情報を発信していますので、適宜ご高覧頂ければ幸いに存じます。

結びに、新年度、そして新元号による次の時代も、関係各位を始めとする皆さまが益々健康で、ご多幸でありますよう心からお祈り申し上げ、本号発行に当たってのご挨拶とします。

横田 誠二

# 議会活動

REPORT 1



## 平成29年12月定例会

### 【 持続可能なまちに向けて 】



質問

この度、「高岡市財政健全化緊急プログラム」が作成され、その中で構造的な歳出超過が約40億円とされているが、財源不足に陥った要因は何か。

相次ぐ社会資本整備を進めてきたということはあるが、これまでは大量退職による人件費の圧縮や基金の取り崩し、退職手当債や行革推進債などの起債に頼るなど、事務事業の見直しによる抜本的対策が弱かったものと考えている。去る平成22年度の全事業総点検で「事務事業効果検証チーム」の検証結果には存在しない、「検討継続」を97件設けたとの実績もあるが、これまでの行革の取り組みを踏まえ、所見を伺う。

答弁

今後、毎年約40億円の歳出超過が継続するとすれば、現在の基金残高ではそれを解消することが困難なことから、今後、財源不足が生じると判断しているもの。

質問

私はこれまで、ペーパーレスや電子決裁、自治体クラウドといった電子自治体の推進を始め、街灯のLED化、市税収納率向上への取り組み、広島県呉市を例に出しての医療費抑制など、様々な施策を提言してきた。(財政健全化緊急)プログラム中の財源不足解消に向けた6点の取り組み以外にも工夫の余地はあると考えるが、所見は。

答弁

事業手法に制約を設けることなく、初期投資とコスト削減効果の両方の効果を見ながら、できることについてしっかりと取り組んでいきたい。

質問

「高岡市財政健全化緊急プログラム」と同時期に公表された「高岡市公共施設再編計画」では、「財団・社団等が所有する施設」、「遊休・未利用財産」、「インフラ」の3点を含めた

高岡市議会は年4回定例会を開催しており、全議員には提出された議案や市政一般に対して質問できる権利が与えられています。この権利をしっかりと使い、各定例会で質問に立ちました。ここではその内容についてお知らせします。

(詳細は横田せいじ公式HPに掲載)

いことになっている。

今回の再編計画の上位計画に当たる「高岡市公共施設等総合管理計画」には、「公共建築物」と並んで道路・橋梁・河川などの「インフラ」も記載されており、それら双方の更新だけで平成27年からの40年間で約6,400億円かかるとされていることから、「インフラ」の対策もしっかりと進める必要がある。

なお、公共建築物とインフラの長寿命化の実施等を考慮した場合、双方の更新費用総額は約4,400億円、つまりただ単に更新する場合と比較して2千億円削減できるとのことであり、建築物等の総量規制による削減のみならず、長寿命化も推進すべきことは明白である。

そこで、インフラの具体的な方向性、計画の策定とその執行状況について伺う。



対策が求められる道路、橋梁等の「インフラ」

答弁

橋梁については、平成30年度までの5年間の予定で市内1,200の橋梁について点検を行い、終了後、現在の橋梁長寿命化計画を見直す予定。

道路については、平成28年3月に策定した市道の1級・2級を対象とする舗装修繕計画を、今後、対象施設を拡大した上で、新たに道路維持管理計画を作成する。

上下水道施設については、本年3月策定の「高岡市上下水道ビジョン」のもと、施設の耐震化・長寿命化を進めることとしている。

今後はこれらの計画に基づき、インフラの長寿命化及び施設の安全・安心の確保に努める。

質問

数値目標(公共施設の総延床面積を2016~2035年度で15%削減)達成のためには、集約化、複合化で整備する施設の規模を最小限にすること、「方針決定」とした施設について早急の方針を決定し、総量削減に努めることが必要としているが、

この「方針決定」とした施設はいつまでに結論を出すのか。またそれらを含めて、(公共施設再編)計画の実行を前倒しすることはないのか、所見は。

答弁

公共施設再編計画の素案で、短期(平成30~34年度)で方針決定と判定された79施設については、早急に個別の事業計画や事業方針を定め、着実に取り組みたい。

また削減される施設と判定された114施設については、できるだけ前倒しできるよう全庁一丸となって取り組んでいく。

### 【 まちの持続的発展に向けて 】

質問

ただ削減を続けるだけではまちが縮小の一途をたどりかねないので、行革の推進と同時に、新たな施策に打って出ることでもまちを継続的に発展させていくことが肝要であり、今ある資源を活かすとの観点も加味し、質問する。

「特産物の活用」という切り口で、高岡を代表する銅器の活用については、各団体・企業が様々な活動を展開しているが、「高岡銅器」全体に関わる話として、その知名度を飛躍的に向上させる絶好の機会として東京オリンピック・パラリンピック競技大会における聖火台の制作を担えるよう、高橋市長や我々自民党議員団などが大会組織委員会に働きかけている。

しかし、どのような結論が下されるか不透明な状況であり、このような中で、聖火台の制作を有料ではなく、寄付することを組織委員会に申し出ることでも他自治体との競争に打ち勝ち、高岡銅器の活躍の場、その後の業界の発展に向けた機会を獲得することとし、その財源として、今年度でふるさと納税を活用して進めている平成の御車山制作プロジェクトが終了することを踏まえ、ふるさと納税を活用した一大プロジェクトとして位置づけ推進してはと考えるが、所見は。

答弁

年内には、組織委員会において、(開会式・閉会式における)セレモニーの演出の方向性となる「基本コンセプト」が策定される予定で、聖火台についての検討も進んでいくものと認識している。今後も、組織委員会等の動きを注視し、時宜を得た要望活動を実施していきたい。

また、議員提案の方策について、高岡銅器を採用いただくための有効な手段の一つと考えており、様々な手法について、今後、研究していきたい。

質問

「歴史・文化資産の活用」について、本分野における代表格は、日本遺産の認定やユネスコ無形文化遺産登録

の構成要素でもある御車山であると存ずるが、その活用のために建設された御車山会館内に一部設置されている「平成の御車山」について伺う。



活用が求められる「平成の御車山」(写真は議会質問後に行われた完成披露式典時のもの)

この平成の御車山は、平成25年から5年かけて制作し、予定制作費3億のうち、1億円をふるさと納税により賄う予定

という中で、計画最終年度である今年度もあとわずかとなっている。

そこで、平成の御車山の完成予定とその後への活用、また寄付目標額の達成見込みは。

**答弁**

計画通り平成30年3月末の完成を予定している。完成後の活用については、平成の御車山制作実行委員会において、高岡御車山会館内での常設展示を基本としながら、利活用を検討いただいている。

寄付は、今日現在で8千5百万円余りとなっており、1億円には至らないものの、制作に要する経費の財源としては、不足なく活用させていただいている。

## 平成30年3月定例会



### 【 財政健全化に向けた 行財政運営について 】

**質問**

直近5か年中、平成24年、25年及び28年と、3か年度で(普通交付税)決算額が予算額を下回る、いわゆる「予算割れ」を起こしているが、その理由は。

**答弁**

平成24年度は、主に基準財政需要額における生活保護費の算定において被保険者数が減少したことの影響によるもの、平成25及び28年度は、基準財政収入額における市税収入見込み額が予算算定時よりも増額となったことの影響によるもの。

**質問**

普通交付税における合併算定替の影響は平成32年度まで段階的に続く。皆で共通認識を持つために伺うが、合併算定替の影響が出る直前の平成27年度と、影響が出きった後の平成33年度の普通交付税額の減収見込み額は。

**答弁**

平成29年度実績に基づく推計では、約5億円の減収になると見込んでいる。

**質問**

財源不足という観点から、本市の資金繰りの状況を見る1つの指標ともなる、「一時借入」について質問する。  
一般会計において、銀行等からの一時借入と、各基金や特別会計現金の繰替使用とを併せて、最大で一時的にどの程度の資金不足が生じているのか。

**答弁**

直近5か年では平成26年度が最も大きく、金融機関からの借入が77億円、繰替使用が82億円、併せて159億円であった。

**質問**

今定例会に上程された「平成29年度一般会計補正予算第9号」において92億円余りの「借換債」の発行を計上するとともに、借換前の市債を一括返済するための歳出を同額計上されている。この一連の財源対策が本市財政にどのような影響を与えるのかを把握する必要がある。

そこで、今回の借換を実施した場合としなかった場合の総支払利息額の差は。

**答弁**

借換しなかった場合の総支払利息額は約2.7億円。借換を実施した場合の金利は、金融機関と交渉中のため総支払利息額の差は提示できないが、可能な限り低利な借換を行い、総支払利息額の軽減に努める。

**質問**

当時は新幹線の開業も間近に控えた中で、財源対策のための市債借入(行革推進債、退職手当債等の借入)はやむを得なかったと存ずるが、見方を変えればこれらの借入を行わなければ当該年度の一般財源は不足する訳であるから、昔から財源不足は生じていたと言える。

市債に頼り過ぎない財政運営を行うためにはさらなる事務事業の見直し、それも抜本的な見直しが必要。

例えば今年度行った補助金の見直しは、30万円以下は据え置かれたままであるし、その他の事業についても、事業費の1割や2割削ったりするのではなく、廃止すべきと考えられる事業はまだ残されていると考えている。

そこで、平成31年度当初予算編成に向けた事務事業見直しについて、所見を伺う。

**答弁**

平成31年度予算編成に向け、依然として厳しい状況にあると認識しており、事務事業の見直しなど改革を進めて行く。

このため、4月以降ただちに、ゼロベースの視点でスピード感を持って取り組む。

**質問**

平成30年度当初予算の歳入に繰入金として合計約3億円が計上されているが、各種基金を取り崩すことは一時借入の機会や、それに伴う金融機関等への支払い利息額を増やすことにもなるし、財政運営における調整弁を失い、危うい運営を強いられることになる。

そこで、年度途中の補正財源の確保について、所見を伺う。

**答弁**

平成30年度においては、一般財源収入を厳しく算定しており、今後の留保財源が見込まれるほか、平成29年度決算による繰越金等も見込み、所要の額を確保することとしている。

**質問**

事務事業の見直しと併せ、有価証券、出資による権利及び建物・土地の公有財産について、処分を含めた見直しを行ってはと考えるが、所見は。

**答弁**

有価証券、出資による権利については、本市の関与が深い公益法人が多く、容易に売却できるものは少ないが、その法人に関する関与の必要性や売却の可能性を整理していく。

公有財産については、速やかに公共施設の再編を進め、原則、売却や民間活力による資産運用等を図り、財源確保に向け活用していきたい。

**質問**

2016年4月1日から電力の小売全面自由化が始まった。東京23区で初めて入札で電力を購入した世田谷区では、平成26年度において1億円の経費節減が見込まれるとの情報があり、本市も入札による電力購入に取り組むことを提案するが、所見は。

**答弁**

価格のみならず安定して供給されることや災害時の対応、料金制度の違いにより料金が上がる可能性がある施設の有無、現在利用している事業者から受けているメリット等の課題もあることを踏まえ、総合的に検討していく。

**質問**

東京都の東村山市では、本年4月から多数の公共施設の清掃や空調、電気・水回りなどの管理業務を一括契約する「包括施設管理委託」の導入に向け進んでおり、この他、千葉県流山市や我孫子市などがこれを導入しているとのこと。

そこで、本市も包括施設管理契約を推進することを提案するが、所見は。



財政健全化に行財政改革。市には不断の努力と工夫改善が求められる

**答弁** 市内企業の受注の機会が減少する課題もあるため、総合的に検討していく。

**質問** また(前問の包括施設管理委託に加えて)、東村山市では同時に市の発注窓口を「施設再生整備課」に一本化して発注業務量を軽減することとし、200件の業務を包括契約できれば2千万円の人件費の削減効果が期待出来るとのこと。

そこで、市の発注窓口の一本化を推進することを提案するが、所見は。

**答弁** 市の予算執行制度や業務監督のあり方等の課題を整理し、効果的・効率的な発注方法を検討していく。

## 平成30年6月定例会

### 【市勢発展と財政健全化に向けた 行財政運営について】

**質問** 本年3月定例会で私が行った事務事業見直しに関する質問を受け、当局では「4月以降ただちに、ゼロベースの視点でスピード感を持って取り組む。」との答弁をされた件について。

具体的な事務事業見直しの実施方針と、現在の進捗状況について伺う。

**答弁** 4月から外部有識者によるアドバイザー会議を開催するなど、(財政健全化)緊急プログラムの推進に向け議論を深めている。

事務事業見直し方針については、アドバイザー会議での意見を参考としながら、できる限り早い時期に示したい。

**質問** 現在、市が積極的に取り組んでいる公共施設再編について、「高岡市公共施設再編計画」には道路や橋梁などの「インフラ」が含まれてないとの指摘を昨年12月定例会で行った。

さらに指摘すれば、(高岡市公共施設)再編計画の上位計画に当たる「高岡市公共施設等総合管理計画」を始めとする公共施設関連の各計画には「都市公園」を含んでいない。この点における所見は。

**答弁** 「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設再編計画」では、都市公園のうち、公園内に施設が存在する公園を対象に、それぞれの計画に位置付け、将来の方針や方向性を定めてきた。

今後、これらの計画に基づき、維持管理費などの更なる削減に努めたい。

**質問** 税政について、平成28年6月定例会での私の提案を受け、翌29年度に東京都が行う「税務の達人」プロジェクトに職員1名を派遣された件について。

派遣の検証結果と、得たものがあるのであれば、それを今後の高岡市政にどのように活かしていくのか。

**答弁** 派遣期間中、年間20回以上の搜索を経験し、得た税務ノウハウは本市の滞納整理手法の拡大に大いに期待できると考えている。

この経験を活かすため、(本年)4月から「組織で滞納整理に取組む体制」を整え、対応が困難とされる高額滞納者に係る搜索を実施している。今後はこのプロジェクトで学んだ手法を活用し、滞納整理を進めて行く。

**質問** 昨年度一杯でコミュニティバス2路線を廃止した件について、当局は「持続可能な交通体系の構築に向けて、地域の実情、ニーズなどに柔軟に対応できる市民協働型の交通システムの導入を進めていきたい」との方針を示されているが、コミュニティバスを廃止した沿線の各地区住民との協議の進捗状況と今後の見通しは。

**答弁** 昨年度(平成29年度)より沿線の各地区に対し、「地域バス」や「地域タクシー」といった市民協働型の交通システム導入に向けた提案を実施している。

これまで3校下で出前講座を開催したところで、現在、検討いただいている校下もあることから、今後とも沿線の各校下等に対し、地域の実情やニーズに合わせた説明・提案を行うなど、働きかけを継続していきたい。

**質問** 先月私たち(高岡市議会)自民同志会が行った研修視察で、自動車教習所や病院等で運行している送迎バスの空席を活用し、高齢者や障がい者を外出応援する取り組みを千葉県我孫子市で学んだところであり、当該事業経費が100万円余りと低コストで実施出来るので、その導入の検討を提案するが所見は。



持続可能な交通体系の構築へ。丁寧な議論、改善が求められる。(写真は平成30年3月末で運行を終了した「こみち」)

**答弁** 現在、各地域包括支援センターでは、地域住民と一緒に様々な地域課題を把握しており、この地域課題は、「高岡市地域ケア推進会議」の中で検討することとしている。

高齢者等の外出支援についても、地域からの課題が上げればこの会議において検討したい。

**質問** 本年新設の「高岡市教育将来構想検討会議」で検討が進んでいる学校規模適正化について。本件においては、平成22年2月の「高岡市立学校適正規模・適正配置に関する報告書」の策定始め、3回の報告書等を策定されており、議論開始から10年近く経過していることや、地域住民から「いつになったらどうなるのか教えて欲しい」との問い合わせが私に寄せられており、具体的計画の策定、円滑かつ着実な実行が求められる。

(今定例会に上程した議案の)提案理由説明では、年度末に構想を策定すると述べられたが、もう少し詳細に策定方針をお聞かせ願う。



具体的計画策定、着実な実行が求められる学校規模適正化

**答弁** 将来構想(検討会議)の中では、今後の小中一貫教育の推進方策や今後10年を見通した小中学校の配置などについて、具体的な方向を示していただくこととしている。

学校再編の素案が示されれば、地域説明会を開催し、幅広く意見を伺いながら構想を取りまとめていくこととしている。

## 平成30年9月定例会

### 【安全安心なまちに向けて】

**質問** 今夏の災害と言えば、気象庁が名称を定めた「平成30年7月豪雨」が挙げられるが、その期間中である7月4日には本市でも大雨が降り、私の地元にある西条小学校を含めて計8か所が避難所として開設された。(避難情報等の)情報を受け取った自治会長を困惑

させることを防ぐ1つの手立てとして、あらかじめ自治会長を含む一般市民に認識していただくことが大切であり、市ではどのように周知しているのか。

**答弁** 避難情報内容は、総合防災訓練や防災マップやホームページ等を通して周知している。今後は対象自治会に説明会を行う等、更なる周知を図っていきたい。

**質問** (防災情報を住民に迅速に知らせる手段の一つとして、市が高岡市防災情報メール配信を行っているが、) 実際の利用者から「赤の背景色に黒色の文字は見づらい」との意見が私に寄せられ、「NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構」によれば、色弱者が日本全体で約300万人いると言われていることを踏まえ、カラーユニバーサルデザインの視点も考慮すべきと考えるが所見は。

**答弁** 背景の色が強く、文字が見えにくいとの指摘もいただいております。今年8月からは、警報、特別警報の背景色を淡くしたところ。色合いについて配慮が必要な方への対応としては、内容の確認を行い、改善してまいります。

## 【 まちの活性化に向けて 】

**質問** 縁がありホームタウン実行委員会に参画し、野外音楽イベントを8月5日に開催した。ただ、本年はイベント当日に複数の音楽イベントが同時に行われたため、人が分散したとの反省点があったが、そうでなくとも、年々予算規模が縮小される中で、一流と呼べるアーティストを招致出来ない状況に陥っていることも大きく影響していると考えている。ちなみに今年度のアーティスト出演料の決算額は30万円余り。

こうした点を踏まえ、音楽イベントの集約化と一定程度の規模の確保が必要と考えるが所見は。

**答弁** 今年度から「Ars nova -音楽の祭典-」と題し、市民の身近な鑑賞機会の充実に努めている。今後についても、情報の集約化及び一元的発信などを通じて、発信力や集客力の強化に努めていきたい。

**質問** アイドルグループ「ももいろクローバーZ」が来年4月に黒部市でライブを開催することを発表した。報道によれば3億円以上の経済効果を見込み、それを呼び込んだのも黒部市が市民からの情報でこのライブの公募を知って申し込んだとのこと。

ライブ会場は黒部市の宮野運動公園とのことだが、本市にはボー

ルパーク高岡があるので、(音楽イベントの集約化について質問した前項の)音楽イベントの開催地にすることも含め、当施設の活用を図ってはと考えるが所見は。



活用が求められる「ボールパーク高岡」

**答弁** 野球場の天然芝の上に機材や椅子を置くことで、芝や球場が痛む。仮設の駐車場の確保等が必要。発生する音に対し、近隣住民の理解を得られるのか。などの課題もあると聞いており、慎重に判断が必要。

将来に向けた持続可能な運営に向け、引き続き方策を検討していきたい。

**質問** 国の名勝に指定され、世界で最も美しい湾クラブに加盟する富山湾を構成する雨晴海岸沿いに建設された「道の駅雨晴」の活用について。

富山県は雨や曇りの日が多く、今年(9月)初旬に訪問者をこの場所にお連れしたところ、海越しの立山連峰の景色が見えず、案内頂いた雨晴観光協会の方は自身の名刺に写っている晴天時の雨晴海岸を用いて説明されたところであり、「せっかくの施設なので何とかして欲しい」と漏らしておられた。

そこで、拡張現実(AR)や仮想現実(VR)の活用を図り、晴れた日の雨晴海岸の情景を常時見られるようにしてはと考えるが所見は。

**答弁** 1階に40インチのタッチパネル画面を設置し、本市見どころや観光情報を提供しており、雨晴海岸の景色を360度見渡すことが出来る映像を提供している。

市としては、まずは一年間運営していく中で、このシステム(前述の雨晴海岸等が見れるモニターの)利用状況や、利用者のニーズ把握に努めたい。その上で、議員提案の活用含め、指定管理者と相談していきたい。

## 【 財政健全化に向けて 】

**質問** 本定例会で7億円の債務負担行為補正を伴う補正予算議案が上程されており、内容は市街灯のLED化をリース方式で推進を図るためのものと伺っている。

本件については、平成26年6月及び27年3月に本会議で私が質

問し、最初に行った平成26年6月の質問時には、先進事例の大阪府の取り組みを参考に、『新たな財政負担が不要で、買い替えによる更新よりも早く省エネ効果を発揮できる「リース方式による道路照明まるごとLED化」の推進』という提案型の質問を行った。

その時、「研究してまいりたい」との答弁を頂いてから今日ここに至るまで約4年3か月の期間を要した。市にとって良い施策なので大いに進めて頂ければと思うが、平成27年度当初予算で道路照明のLED化に向けた予算を措置した際、「リース方式と比べて更新予算が平準化される」などの理由で「買取方式」を選択し、拡充した予算額が1,600万円と、ここまで少しずつLED化を進めてきたものが、ここに来てなぜ「リース方式」を採用し、なぜ一挙に実施することとしたのかその理由は。

仮に財政難を理由とするのであれば、私が4年以上前に提案した時も「市の財政を何とかしなければ」との想いで提案していたので、その点を確認させて欲しい。



議会での提案から4年超の歳月を経て、市街灯のLED化がリース方式で一挙に実施へ

**答弁** 道路照明灯のLED器具の価格が約11%下がっていること、電気料金単価がここ3年間で13%上昇していることなどから、改めて検証した結果、現時点でリース方式が本市にとって最適と判断したものの。

**質問** 総務省は本年3月に「地方行政サービス改革の取組状況等に関する調査等」と題し、全国各自治体の行革の取組状況を公表した。

この公開ページ内には、地方公共団体における行政改革の取組事例が掲載されているほか、総務省内の別ページで過去に自治体が行った業務改革モデルプロジェクトの報告書が掲載されるなどしており、そうした先進事例の導入検討を提案する。また、業務改革プロジェクトが来年度も募集されるのであれば、これは国の支援を受けながら行革に着手出来るものなので、新年度にぜひ取り組むことの検討も併せて提案するが所見は。

**答弁** 行政サービスについては、多くの業務について民間委託、指定管理を進めてきているが、委託範囲拡充など、更なる行政サービス改革が必要。

引き続き、その推進に努めるとともに、本市で定める行財政改革推進方針や財政健全化緊急プログラムに掲げる取組みについて、積極的に進めていく。

# 地域活動

REPORT 2



議員活動は、「議会内」と「議会外」での活動に大きく分けられます。

「高岡の活性化」と「住み良い地域づくり」実現のため、

議会外でも様々な活動を行っています。

ここではその内容についてお知らせします。



H30.2.2 奥野信亮総務副大臣との懇談



H30.2.4 第13回高岡市民体育大会 スキー・スノーボード競技会



H30.5.26 第66回自民党富山県連定期大会



H30.4.23 第1回高岡市議会自民同志会 議会報告会



H30.6.16 自民党青年部・青年局 全国一斉街頭行動



H30.9.7 韓国大邱壽城青年会議所公式訪問団受入に係る 高岡市長表敬訪問



H30.10.14 国境なきUNDOKAI 2018



H30.11.4~5 自民党高岡市連 青年局・部 役員視察研修



H30.11.7 若手政治家と学生との懇談会in富山国際大学



H30.11.25 自民党富山県第三選挙区支部街宣



H30.11.14 若手政治家と学生との懇談会in高岡法科大学



H30.11.19 若手政治家と学生との懇談会in富山大学



H30.11.24 第5期自民党富山政治学校 第5回講座講師 (政策立案のポイントの説明)



H31.1.31 若手政治家と学生との懇談会in富山大原簿記公務員医療専門学校

# トピックス

REPORT 3

議員として、議会内外で「議会活動」と「地域活動」を行ったことにより実現・解決した市民要望や市政課題、あるいは市内外の組織・団体への役員就任など、様々な話題(トピックス)があります。  
ここではその内容についてお知らせします。

## 役員就任

- 公益社団法人高岡青年会議所 理事長  
昨年1月より専務理事、そして本年1月より理事長(第49代)に就任
- 自由民主党高岡市連合支部 青年局長  
昨年3月の定期総会において、青年局長に就任
- 高岡市議会会派 自民同志会 政策分科会座長  
昨年3月の会派政調会において、「総務・議会改革分科会」座長に就任  
その後、同年12月の議会諸役員交代に伴い「産業建設分科会」座長に就任
- ホームタウン実行委員会 副委員長  
昨年5月の総会において、副委員長に就任
- 自由民主党 富山県第三選挙区支部 青年局幹事  
昨年5月、幹事に就任
- 全国若手市議会議員の会 北信越ブロック事務局長  
昨年7月より、事務局長に就任
- 高岡市消防団 広報紙編集委員会委員  
昨年7月より、委員に就任
- 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業運営委員会委員  
昨年8月より、委員に就任
- 高岡市議会関連の各役職  
昨年12月の高岡市議会定例会における議会諸役員交代に伴い、次の役職に就任。
  - ・産業建設常任委員長
  - ・広報広聴委員会 委員
  - ・まちづくり対策特別委員会 委員
  - ・放置自転車対策審議会 委員
  - ・高岡地区広域圏事務組合 議会議員

## 課題、要望の解決・実現

### 街灯新設



防犯、交通安全対策のため、長江地区内に街灯を新設

### 雪対策



高岡市から各地区・校区に配備されている小型除雪機を、西条校区に追加配備(2台から→3台へ増強)

### 道路改修

交通安全、内水害対策等のため、内免地内の側溝を整備



### 道路施設改修



交通安全確保のため、道路沿いの障害となっていた樹木を整理



### 道路改修



交通安全、内水害対策等のため、内免地内の側溝を改修



### 道路改修



内水害対策等のため、西町地内の側溝を整備



### 道路改修



車両通行時に生じる騒音・振動を解消し、住環境を改善するため、路面とマンホールの段差を解消する道路改修を実施



### 道路改修



損傷の激しかった道路を改修すると共に、雨水排水機能の向上のため側溝を整備



H30.6.12 (公社)高岡青年会議所臨時総会にて、第49代理事長予定者として承認(2019年1月1日から任期開始)